

町の基幹産業の一次産業には欠かせない生産資材。錦町の店舗で、多岐にわたる肥料や包装資材などをスムーズに供給し、農家や消費者をサポートしています。町に移住して2年余り。育児をこなしながら「農家や町民との触れ合い」を大切に第一線で働く藤岡麻美さんに話を聞きました。



J Aとまこまい広域  
経済部生産資材課主任

ふじおかあさみ  
藤岡麻美さん(33歳)

Vol.04

## 触れ合いを大切に

にしています」と、日々の努力を惜しみません。同じ農家でも栽培方法や土壌管理など人それぞれ。時には農家に行くこともあり、個々の農家の要望をできるだけ事前に把握するように心がけているそうです。「そのためには、人を知ることが一番。今では、ほとんどが顔見知りで、何を望んでいるのかが分かるようになりました」と胸を張りました。来店客に掛けられる「ありがとっ」の5文字が、日々の仕事の原動力になっているといいます。

旧穂別町（現・むかわ町穂別）出身で、実家が農家だったこともあり高校卒業後にJAとまこまい広域穂別支所に就職。その後、厚真支所に異動し、苫小牧市内から通勤していました。平成30年春に子育て環境が整った厚真町に魅かれて移り住み、保育園に通う4歳の長男と暮らしています。

く、地域住民も子育てを支援してくれるそうです。「あいさつはもちろん、遊びに行ったり来たりするなど交流が多いおかげで、息子は人見知りせず、伸び伸び育っています」と生活環境に満足しています。

帰宅後、子どもと一緒に自宅近くを散歩するのが日課です。保育園での出来事や友達の話など、会話が弾みます。天気の良い日に広がる満天の星空が、町の魅力の一つだと教えてくれました。胆振東部地震を体験し、少しずつ好転する様子に将来のマチの活力を感じるのか。「自然に恵まれ、日常に広がる当たり前の景色がみられるだけで『幸せ』です。人を大切にして、これからの厚真のために一緒に頑張っていきたいと思っています」。

あなたにとっての  
愛すべき厚真を投稿してください

 フェイスブック  
@atsumatownhokkaido

 インスタグラム  
atsumalovers

ハッシュタグ#atsumaloversをつけてフェイスブックまたは  
インスタグラムに投稿してください。

# ATSUMA LOVERS